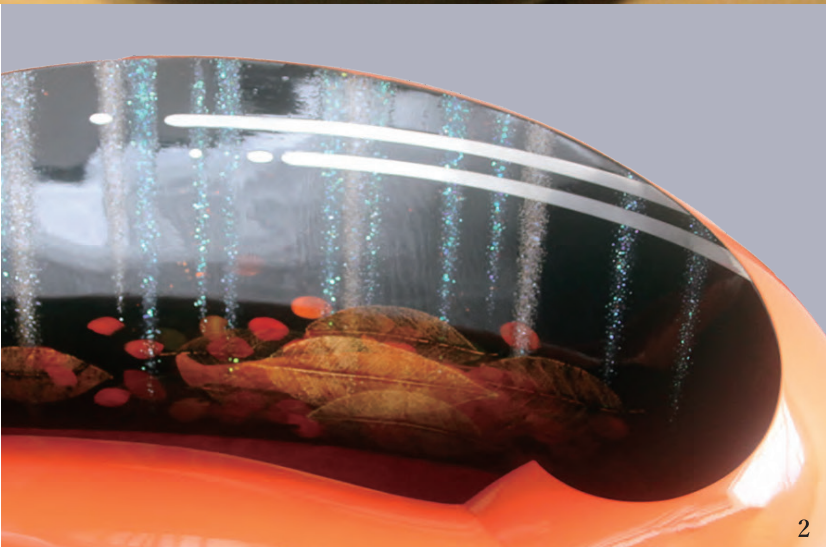




1



2



3



4

会津漆美術工芸作品展

〜喜多方の漆の歩みとともに〜

1 二瓶壽子《蒔繪大東野の花蒔絵》2016年 漆、卵殻 ほか

2 坂内憲勝《森の譜より沼の主》2003年 漆、螺鈿、銀、麻布

3 大竹信一《三足の器》2020年 漆、バルブ、木、麻布、漆粘土

4 吾子可苗《Cocoon -Paphiopedilum-》2019年 漆、和紙、麻布 ほか

2023

10月7日(土) ~ 11月12日(日)

□ 出品作家 (敬称略)

吾子可苗	伊藤将和	井波 純	大竹信一
佐藤達夫	須藤靖典	二瓶和男	二瓶壽子
坂内憲勝	宮村源治	吉田重信	

□開館時間 | 10:00~18:00 (最終入館は17:30まで)

□休館日 | 水曜日

□主催 | 喜多方市美術館

□観覧料 | 一般600円、小・中・高校生250円

65歳以上75歳未満300円、75歳以上・未就学児 無料

喜多方市美術館

〒966-0094 福島県喜多方市字押切2-2
Tel.0241-23-0404 Fax.0241-23-0406
URL: <http://www.kcmofa.com/>

会津漆美術工芸作品展 ～喜多方の漆の歩みとともに～

漆は、日本人の生活や文化に古くから深く関わってきました。喜多方でも発掘された遺跡などからその使用の痕跡を確認することができます。その特徴である耐久性や仕上げの美しさは、私たちに魅了し、生活の道具としてだけでなく、様々な作品・表現の素材としても利用されてきました。

本展覧会では、会津にゆかりのある作家11名の作品を紹介します。伝統工芸としての漆作品、現代の感性に則した創造性豊かな作品など、作家たちが漆と対話し、生み出された表現を漆そのものの魅力とともに楽しみください。



宮村源治
《能》漆絵 制作年不詳 漆・板



須藤靖典
《紙胎消粉透かし時絵漆箱 雪水り》
2022年 銀粉、鮑貝、常色



佐藤達夫
《乾漆イチジク時絵箱》2021年 漆・螺鈿



二瓶和男
《机上箱 雪ゆるむ》制作年不詳 漆・卵殻



伊藤将和
《朱点-memento mori-》2011年 赤漆・硝子(部分)



吉田重信
《分水霊》2013-2023年 赤漆・布



井波純
《Stupa》2010年 漆・麻布・木
(会津・漆の芸術祭 2010 未廣酒造 嘉永蔵会場にて)

出品作家(敬称略)

吾子可苗、伊藤将和、井波純、大竹信一、佐藤達夫、須藤靖典、二瓶和男、二瓶壽子、坂内憲勝、宮村源治、吉田重信

◆関連イベント ※状況により変更する場合があります。

●ギャラリートーク

会津漆器の歴史や現状などについて解説します。

日時: 10月14日(土) 14:00~15:30

会場: 喜多方市美術館展示室

参加費: 無料 ※当日観覧券が必要です。

講師: 吾子可苗氏(漆芸家)、井波純氏(漆芸家)、佐藤達夫氏(漆芸家)

●ワークショップ

拭き漆や会津型の図案を使用して小さな器を仕上げる工芸体験です。

日時: 10月21日(土) 11:00~15:30(昼休憩含む)

会場: 喜多方蔵の里 イベント蔵

対象: 小学生~大人 10名(要申込)

参加費: 800円

持参物: 汚れても良い服装でご参加ください。

講師: 佐藤達夫氏(漆芸家)

申込先: 喜多方市美術館へ直接、もしくはお電話にて。



※完成作品イメージ

◇交通アクセス

・JR喜多方駅から約1.5km 徒歩20分 タクシーで5分

・磐越自動車道会津若松ICから約19km 車で25分

・磐越自動車道会津坂下ICから約20km 車で25分

・会津縦貫道喜多方ICから約4km 車で10分

*駐車場のご案内

お車で来館されるお客様は、喜多方プラザ文化センター



次回の展覧会のお知らせ 「収蔵作品展 新コレクションを中心に」(仮) 2023年12月16日(土)~2024年1月9日(火)